家庭総合　学習指導案

**１　　履修単位数**　４単位

**２　　実施日時**　　平成○○年　○月○○日（○）○限目

**３　　学　　級**　　○○ＨＲ（○○名）

**４　　使用教科書**　新家庭総合（大修館書店）

**５　　単元名**　　「衣生活を設計し実践しよう」

**６　　単元設定の理由**

　　　　近年，国内外の様々なファストファッションの店舗が拡大し，誰でも安価で手軽に衣服の流行や着こなしを

楽しめるようになった。それは高校生も同様である。○○ＨＲの多くの生徒は流行やファッションに興味・関

心があり，定期的に衣服を購入しているものの，流行遅れやサイズが合わなくなると衣服を廃棄したり，死蔵

被服として保有している。また，衣服の手入れや保管などの管理や被服の構成についての関心は薄く，衣服を

単なる使い捨てのモノとして捉えているのではないかと考えることができる。

そこで指導にあたっては，身近な日常着の製作をとおして基礎的・基本的な知識と技術を身に付けさせる

　　　とともに，自己の衣生活や現代の衣生活の問題点や課題を考えさせ，主体的に衣生活を営むことができる意欲

と実践的な態度を培っていきたい。

**７　　単元の目標**

・衣服の機能や被服材料の性能について理解し，適切な選択や管理ができるようにする。

・エプロン製作を通して，被服の構成を理解し，被服製作の基本的な技術を身につけられるようにする。

　　　・現代社会や自己の衣生活の課題について考え，課題解決に積極的に取り組むことができるようにする。

**８　　単元の評価規準**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 関心・意欲・態度 | 思考・判断・表現 | 技能 | 知識・理解 |
| 着装，被服材料，被服の  構成，被服製作，被服管  理などの衣生活の科学と  文化に関心を持ち，意欲  をもって学習活動に取り  組んでいる。 | 着装，被服材料，被服の  構成，被服管理などにつ  いて課題を見いだし，そ  の解決を目指して思考を  深め，適切に判断し，表  現している。 | 主体的に衣生活を営むた  めに必要な被服製作，被  服計画，被服整理などの  技術を身に付けている。 | 着装，被服材料と構成，被服製作と管理などについて，科学的に理解し，安全と環境に配慮した衣生活とを営むための必要  な知識を身に付けている。 |

**９　　指導と評価の計画**

　　　　第１次・・・衣生活をみつめる・・・４時間

　　　　第２次・・・健康で個性的な衣生活のために・・・４時間

　　　　第３次・・・これからの衣生活を考える・・・４時間（本時４／４）

　　　　第４次・・・エプロン製作・・・１０時間

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 【ねらい】・学習活動 | 評価の観点 | | | | | | | | 評価方法 |
| 関 | | 思 | | 技 | | 知 | |
| 第１  次 | 衣服の持つ様々な機能，衣服が歴史・文化とともに変遷してきた様子について関心を持つとともに，人と衣服との関係を総合的に捉える。 | ● | |  | |  | | ● | | ワークシート |
| 第２  次 | 衣服の入手，着装，手入れ，収納から廃棄までの衣服の一生について理解し，実生活に役立て豊かな衣生活を実践しようとする意欲を持つ。 | ● | |  | |  | | ● | | ワークシート |
| 第３  次 | アンケート結果を分析し，衣生活の課題を考え，課題解決策を調査・共有し，自らの生活に役立てる意欲を持つ。 | ● | | ● | |  | | ● | | ワークシート  模造紙（発表内容）・観察 |
| 第４  次 | エプロン製作の工程を理解し，日常生活に役立  つ縫製に関する基本的な知識と技術を身につける。 | ● |  | | ● | | ● | | ワークシート  製作実習物 | |

**１０　　本時の指導目標**

・各グループで調査した内容から現代の衣生活や自己の衣生活の課題を認識することができる。

・課題について思考を深め，安全と環境に配慮した衣生活を主体的に営む意欲をもつことができる。

**１１　　本時の展開**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 時間  （分） | 学習活動 | 指導上の留意点 | 学習活動における  具体的な評価規準 | 評価方法 |
| 導入  （5分） | ○本時の目標と，発表の際の注意事項を聞く。 | ○本時の目標を明確にするとともに，注意事項を確認する。 |  |  |
| 展開  （35分） | 衣生活に関する様々な問題点に気づき，解決する意欲を持とう。  ○模造紙にまとめた各グループの調査内容を発表する。  調査項目  ・繊維の過去と未来  ・ユニバーサルデザイン  ・衣生活と５Ｒ  ・古着の有効活用  ・世界のファッション  ・  ○発表後には，質疑応答に答える。  ○発表を聞いて，他のグループから学んだことや，新たに発見したことをワークシートに記入する。 | ○発表の際の態度や，発表時間約５分，質疑応答時間約２分を守らせる。  ○疑問点があれば質問するように促す。  ○各グループの発表から，衣生活に関する多くの課題が存在することを認識させる。 | ○問題意識を持って調査し，内容を工夫してまとめて発表することができている。  　（思考・判断・表現）  ○発表内容に関する質問をすることができる。  　（関心・意欲・態度）  ○各グループの発表から  衣生活に関する様々な課題を理解する。  　（知識・理解） | 模造紙  観察  観察  ワークシート |
| まとめ  （10分） | ○自分の衣生活と関連させ  て考え，感想欄に記述する。  ○本時のまとめを聞き，自己評価欄に記入する。 | ○本時の学習を，自分の生  活にどのように役立てていくか考えさせる。  ○小松島市のリサイクルショップ等の状況を示し，より身近な問題として捉えることができたか確認し，本時のまとめとする。 | ○自らの衣生活の中に存在する課題として捉え，本時の学習を今後の衣生活の改善に役立てようとしている  （関心・意欲・態度） | 自己評価シート |